

高円宮杯 JFA 第 34 回全日本 U-15 サッカー選手権大会東北大会 実施要項

- 1 主旨 公益財団法人日本サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担うユース(15歳以下)少年達のサッカー技術向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、第3種年代の加盟チーム全てが参加できる大会として、本大会を実施する。
- 2 名称 高円宮杯 JFA 第 34 回全日本 U-15 サッカー選手権大会東北大会
- 3 主催 公益財団法人日本サッカー協会
一般社団法人東北サッカー協会
- 4 主管 一般社団法人青森県サッカー協会 一般社団法人秋田県サッカー協会
特定非営利活動法人山形県サッカー協会 一般財団法人福島県サッカー協会
一般社団法人宮城県サッカー協会
- 5 後援 青森県教育委員会 岩手県教育委員会 宮城県教育委員会 秋田県教育委員会
山形県教育委員会 福島県 東北中学校体育連盟 弘前市 秋田市 山形市 福島市
- 6 協賛 株式会社モルテン 株式会社ボンボネーラ
- 7 期日 2022年10月29日(土)、30日(日)、11月5日(土)、6日(日)、12日(土)
- 8 会場 青森県:10月29日(土)、10月30日(日) 弘前市運動公園球技場・東奥義塾高校 1・2回戦
山形県:10月29日(土)、10月30日(日) 山形市球技場
山形県総合運動公園第2運動広場 1・2回戦
秋田県:10月29日(土)、10月30日(日) 秋田県立中央公園球技場 1・2回戦
福島県:10月29日(土)、10月30日(日) 十六沼公園 サッカー場 1・2回戦
宮城県:11月5日(土) 女川町総合運動公園 3回戦
宮城県:11月6日(日)、12日(土) 石巻フットボール場 準決勝・決勝
- 9 参加資格 (1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、JFAという)に2022年5月31日までに第3種または女子登録した加盟チームもしくは準加盟チームであること。
(2) ① 上記(1)のチームに2022年8月31日までに登録された選手であること。ただし、一家転住等の理由により上記期限以降に移籍または追加登録した選手が大会参加を希望する場合、当該都道府県サッカー協会第3種委員長及び当該地域担当の第3種大会部会員が別途了承した場合に限り、大会参加を認める。
② 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、JFAの女子加盟チーム登録選手を、移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
③ JFAにより「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内のチーム間であれば移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第4種年代のみとし、第3種及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
④ 選手が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。但し、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
 合同するチーム及びその選手は、それぞれ(1)及び(2)①を満たしていること。
 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
 合同チームとしての参加を当該都道府県サッカー協会第3種委員長が別途了承すること。

10 参加チーム及びその数

参加チーム数は次の(1)から(4)により選出された最大 30 チームとする。

- (1)東北 U-15 みちのくトップリーグ 9 チーム(優勝チームは除く)と、みちのくチャレンジ北リーグ(青森、岩手、秋田)7 チーム、みちのくチャレンジ南リーグ(宮城、山形、福島)8 チームの計 24 チーム。
- (2)東北各県サッカー協会により推薦または選出された 6 チーム。
- (3)1 登録 1 チームで複数チームの参加は出来ない。
- (4)みちのくトップリーグの成立の有無によって、参加チームが変更になる場合がある。

11 競技方法

- (1) みちのくリーグの 24 チーム及び東北各県から推薦された 6 チームによるノックアウト方式
- (2) 試合時間:80 分(前・後半 40 分)。
- (3) ハーフタイムのインターバル:原則として 10 分(前半終了から後半開始まで)。
- (4) 試合の勝者を決定する方法(80 分で勝敗が決しない場合)
 - ① 20 分(前・後半 10 分、インターバルなし)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により次回戦進出チーム、第1・第2 代表チームを決定する。
 - ② 延長戦に入る前のインターバル:5 分。
 - ③ PK方式に入る前のインターバル:1 分。

12 競技規則

- (1) JFA 制定の「サッカー競技規則 2022/2023」による。
- (2) 大会参加申込した最大 30 名の選手のうち、各試合の登録選手は最大 18 名とする。
- (3) 交代に関しては、競技開始前に登録した最大 7 名の交代要員の中から最大 5 名までの交代が認められる。ただし、後半の交代回数は 3 回以内とする。**(1 回に複数人を交代することは可能)前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。延長戦に入った際、後半に 3 回選手交代を行った場合でも、選手交代を行うことができる。(交代枠が残されている場合に限る)**
- (4) ベンチ入りできる人員は最大 12 名(役員 5 名以内、選手 7 名以内)とする。
- (5) 本大会において退場を命じられた選手は次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については、21(4)に定める本大会規律・フェアプレー委員会において決定する。
- (6) 本大会期間中に警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。
- (7) 1 回戦～準々決勝における警告処分は、準決勝へは持ち越さないものとする。
ただしグループステージから準々決勝における出場停止処分が未消化の場合は、準決勝に持ち越され適用される。例)準々決勝に累積 2 枚目の警告を受けた選手は、準決勝には出場できない。
- (8) テクニカルエリア:設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ 1 人の役員が伝えることができる。
- (9) 第 4 審判員:任命する。
- (10) アディショナルタイムの表示:実施する。
- (11) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数:2 名以内。

13 参加申込

- (1) 参加申込し得る人員は、各チーム役員 6 名・選手 30 名を最大とする。
- (2) 申込締切日:2022 年 10 月 11 日(火)
- (3) 申込方法:参加チームは、KICKOFF より申し込みとする。
- (4) 上記(2)の申込締め切り以降の申込内容の変更は認めない。

14 参加料

20,000 円

期日までに指定の口座に振り込むこと。

15 ユニフォーム

- (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームでエントリーし、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。
- (2) シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- (3) シャツの前面・背面に参加申込時に登録した選手番号をつけること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- (4) 選手番号については 1 から 99 まで選手固有番号とする。
- (5) ユニフォームの色、選手番号については、参加申込締切日以後の変更は認めない。

(6) ユニフォームへの広告表示については JFA「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし公益財団法人中学校体育連盟加盟チームは連盟規定によりこれを認めない。

(7) その他の事項については JFA「ユニフォーム規程」に則る。

16 表彰

- (1) みちのくトップリーグ優勝のチームを第 1 代表とする。本大会決勝戦の勝者を第 2 代表とする。
- (2) 第 1 代表、第 2 代表のチームは、2022 年 12 月に行われる高円宮杯 JFA 第 34 回全日本 U-15 サッカー選手権大会出場の権利と義務を有する。
- (3) 優勝、準優勝、第 3 位チームには賞状を授与する
- (4) みちのくトップリーグが成立しなかった場合はこの限りではない。

17 宿泊・交通

- (1) 移動に伴う交通費については、各チーム負担とする。
- (2) 宿泊・弁当についての斡旋は行いません。各チームにて手配をお願いします。

18 マッチコーディネーションミーティング

各試合競技開始時間の 90 分前にマッチコーディネーションミーティングを開催する。
マッチコーディネーションミーティングにおいて、メンバー用紙の回収(3 枚)、着用するユニフォームの決定、諸注意事項の説明等を行う。参加者は、両チーム代表、審判員 4 名、競技責任者とし、時間厳守でお願いします。

19 傷害補償

- (1) 参加チームは必ず傷害保険に加入していること。
- (2) 試合会場では応急処置のみ主催者(主管サッカー協会を含む)の責任とする。

20 組合せ

一般社団法人東北サッカー協会 3 種委員長会議にて抽選を行う。

21 その他

- (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
- (2) 各試合の登録選手は、選手証を試合会場に持参すること。
不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。
- (3) 本大会の規律・フェアプレー委員長は東北協会規律・裁定委員長とする。
規律・フェアプレー委員会の委員人選については委員長に一任する。
- (4) 本大会協賛各社から参加チームへの提供物については、JFA、THFA からの告示があった場合、その指示に従うこと。
- (5) 会場の使用について、会場の使用規定を遵守するものとする。
人工芝ピッチの場合、金属製スタッドは使用できない場合があるので確認願います。
- (6) 試合前アップについて天然芝の場合は試合前の時間制限を設ける場合があるが、人工芝ピッチの場合はこの限りでなくアップにおいても使用を認める。会場責任者の指示に従うこと。
- (7) 会場での駐車スペースに限りがありますのでご了承ください。また路上駐車をしないよう各チームで徹底すること(応援の保護者等も同様)。
- (8) 地震などの災害時には利用施設の災害対応マニュアルに従い避難すること。
雷雨時の対応については、JFA のサッカー活動中の落雷事故防止対策についての指導を基に、主催者において決定する。雷による試合中断の目安は 90 分程度とする。
雷雨等により試合続行不可能な場合は、原則再試合とする。ただし、後半 30 分を過ぎている場合は、その時点でのスコアをもって試合成立とする。なお、その試合での警告及び退場は有効となる。(累積等による出場停止の消化も同様に有効)
- (9) 本大会要項に規定されていない事項については大会実行委員会において協議の上決定する。

22 新型コロナウイルスへの対応について

- (1) 感染防止について、文部科学省、スポーツ庁、JFA、東北各県 FA が定めるガイドラインを遵守する。
- (2) 感染者が出た場合は、状況を各県 FA に報告し、感染拡大を最小限にとどめるための指示を受ける。また、その後の大会の継続、延期、中止の判断を各県 FA で決定し、各県三種委員長から、THFA 三種委員長に報告する。
- (3) 感染の公表にあたっては、個人及びチームが不当な差別を受けないよう十分な配慮を行う。
- (4) 本要項に記載にない事態が発生した場合は、東北 3 種委員会において協議し決定する。

23 問合せ

一般社団法人東北サッカー協会 022-220-0803